

MIRS 標準機 統合試験報告書・チェックシート

最終更新日：8/5

作成者：武田巧達

チーム名：MIRS2301

試験項目	試内容と合否条件	実施日	実施者	試験結果	合否	備考
直進動作	D 科棟 1F または 2F の廊下を直進する。試験時間は 10 分間とし、その間廊下を往復する。 壁や一般参加者への接触があった場合減点とする。 また、指定距離以上の動作の場合は加点とする。	8/5	小野 古賀 石川	10 分間 3 往復 衝突なし	○	直進動作試験は一日体験授業日に行った。 速度は 30 cm/s で行った。
正対補正動作 + 数字認識	数字ボードに対して ±20 度傾いた状態から、1m まで近づいて数字ボードと正対する。その後、数字ボードの数字を認識し、その数字 × 10 cm 下がる。 スタート位置は指定距離から ±50cm とする。正対補正後の壁との距離の誤差は 3cm 以内、傾きは 5 度以内とする。	7/12	小野 古賀 田中	左側から誤差傾き +2° 右側から -9	○	

回転動作	90 度ずつ一時停止して、360 度時計回りおよび反時計回りに回転する。回転速度は 30 度/s および 60 度/s とする。	7/12	小野 古賀 田中	30 度/s 誤差 1° 60 度/s 誤差 0°	○	
回避行動 (1)	20cm/s で直進走行中に前方の障害物との距離が 20cm 以下になったら停止し、2 秒後に 30cm 下がる。	7/12	小野 古賀 田中	誤差 0cm	○	
回避行動 (2)	20cm/s で直進中に障害物に前方バンパーが接触したら、停止し、2 秒後に 30cm 下がる。	7/12	小野 古賀 田中	誤差 0cm	○	
等距離移動	壁との距離 70cm を保ちつつ 5m 移動する。50cm ごとに壁との距離を確認する。	7/12	小野 古賀 田中	進行方向に + 20cm の誤差	○	